

# Tokyo Smooth Clothover -東京スムクロ-

布川俊樹(G) 泉川貴広(P) 石村順(B) 平井景(Drs)

## 10月22日(土) 東京・調布 GINZ

0424-89-1991 / 調布市小島町2-25-8フジヨシ小島ビルB1  
Open17:15 / Start18:00 / 予約3,800円 / 当日4,300円

## 10月30日(日) 茨城・水戸 Girl Talk

029-225-0050 / 茨城県水戸市白梅1-7-15-2F  
Open17:00 / Start18:00 / 4,000円

-いきさつ-

「往年のクルセイダーズみたいなので、平井とやりたい。企画して。」

事の発端は、ある同窓会の宴席だった。ほどよく酔いの回った布川俊樹(G)は、後輩である平井景(Drs)をつかまえてこう言い放った。なにしろ10年も上の大先輩の言うことだ、逆らえるワケもない。こうして平井は、自身の主宰する”平井景スペシャル”やセッションで見出した泉川貴広(Key)と石村順(B)を巻き込んで、新たなユニットを結成。

2011年7月8日の初ライブは、布川の望み通り、メロディックでソウルフルなオリジナル曲とクルセイダーズの名曲を織り交ぜた選曲で、終始リラックスした和やかなムードの中、布川の歌心溢れるブルージなギターが熱く吼え、平井のダイナミックかつ繊細なドラムがうねる鼓動を刻み、泉川の大胆で奔放なシンセとエレクトリック・ピアノが色彩と光を放ち、石村の揺るぎないベースが脈々と対旋律を紡ぎ出したのだった。その打ち上げの席で冷麺に舌鼓を打ちながら、布川は実に満足げにこう呟いた。「いやあ最高だね、またやろう。」

こうして、新たに“東京スムース・クロスオーヴァー”と命名されたユニットの活動が決定した。

親しみやすくソウルフルなメロディラインと、R&Bやファンクのグルーブ。

'70年代、ジャズファンクやフュージョンと呼ばれた音楽が持っていた、

あの洗練されつつも温かいサウンドを彷彿とさせる、ポップでリラックスした大人の音楽。

20代~30代~40代~50代と4世代にまたがるミュージシャンが、まさにCrossOverする！